



おっぱいだより



新潟市民病院母乳育児推進委員会
令和8年3月

暖かさを感じられる日が多くなってきました。春はもうすぐそこですね。皆さまお変わりなくお過ごしでしょうか。
当院はBFH (baby friendly hospital) です。

NICU は、カップ授乳を2017年からスタートしています。カップ授乳をしている施設は全国的にも数少なく、継続してカップ授乳を行なっている施設も少ないです。
カップはプラスチックからシリコン製に変わり、哺乳しやすくなりました。

カップ授乳って・・・何？？？簡単に言うと、コップで飲むイメージです。
哺乳瓶での哺乳と、直接授乳はよく似ていますが、吸着の仕方・吸てつと嚥下のタイミング・抱き方が異なります。哺乳瓶に慣れてしまうと、おっぱいとゴムの乳首で混乱することがあります。混乱しないように、お母さんのおっぱいを上手に飲み取れるようになるまで、哺乳瓶は使用せず「カップ授乳」を行っています。カップ授乳は、『待つ』ための手段の1つです。（赤ちゃんの経過によっては、哺乳瓶を使用することもあります）



カップ授乳は、赤ちゃんを半分起こした姿勢で抱っこします。カップを傾けて、母乳が赤ちゃんの唇に触れる程度にし、カップを赤ちゃんの下唇の上に優しく置きます。赤ちゃんは母乳の匂いを嗅ぐことが出来、母乳を口に含んだり、舐めたりします。赤ちゃんが飲み込んだり、休んだりしている間は、自分のペースで飲むことができるように、カップをそのままにしておきます。誤嚥の可能性があるので、赤ちゃんの口に母乳を注がないように注意しています。

カップ授乳や育児について悩むときはいつでも相談してください。
カップ授乳を見たい！！！！いつでもNICU・産科へお越しください。
ご案内いたします。



※赤ちゃんの写真は、ご家族の了承を得て使用させてもらっています。

